



吉見 大 議員

官民共創本部の設置と、 7つの政策の実現に向けた 市政運営について

問

**官民共創を進める上で大切な
ものは何か**

答

対話を重ね、お互いが信頼できる関係性を
構築することです

答
政策監

7つのビジョンの実現に向け、共創施策の統括、部局横断の調整、進捗管理と検証を担います。総合計画の基本方針に基づき、必要経費は予算編成に反映し、評価は行政評価の仕組みを活用します。

問
民間提案を受け止め、事業化につなげる仕組みと成果検証はどうするのか。

答
政策監

官民共創まちづくりプロジェクトチームを設置し、研修会や調査・研究、ワーク

問
官民共創を進める上で一番大切なものは何か。

答
政策監

対話による信頼関係です。対話を重ね、お互いが信頼できる関係性を構築することが一番大切であると考えます。

シヨップを通じて、民間提案受付に向けた体制や事業化の仕組みを検討します。成果検証は、総合戦略のKGI・KPIを基本とし、民間投資件数や額、観光消費、公共施設の有効活用、地域課題の解決件数、共創意識の醸成度などの数値化も検討します。

答
政策監

本市は合併後20年間で約1万2,000人の人口減少を経験し、少子高齢化、地域経済の縮小、公共施設の維持管理、交通、農業や地域活動の担い手不足など、課題が複雑化しています。協働を基本

問
人口減少や担い手不足、公共施設の維持管理、地域交通、農業や地域活動など、本市を取り巻く課題は複雑化している。こうした中で官民共創本部を設置した背景、目的、従来の市民協働・官民連携との違いは何か。

としながら、多様な主体が連携し、共に新たな魅力や価値を創り上げるため、本年4月1日に官民共創本部を設置しました。従来の市民協働や官民連携は、市が方向性や制度を定め、団体や事業者に運営いただく形になりがちですが、官民共創は、課題について対話を重ね、方向性や利用形態を一緒に作っていくものです。

問

市が掲げる7つの政策、総合計画、予算編成、事業評価とどのように関係するのか。

